



# 市長との約束 2023

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

危機管理監

佐藤 光弘

約束内容	市民の生命の保護・確保
達成目標	令和4年3月の福島県沖地震、令和4年7月大雨をはじめ、近年大崎市では激甚的な災害が頻発化しています。また、国民保護法関連での武力行使行為も、世界的に予断を許さない状況にあり、そうした大規模自然災害の発生や行為から、市民の生命を保護・確保することを最大の目標とします。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	災害及び危機事象において市民の生命を保護・確保できた。 1 災害及び危機事象 ・前線による大雨（9月）、台風13号（9月）、能登半島地震支援（1月～）、遭難捜索13件 2 訓練・研修・調査等 ・総合防災訓練（6月）、流域河川合同点検（6月）、ワンコインセンサー実証実験（9月～）、県原子力防災訓練（1月）、防災指導員フォローアップ研修（2月）、自主防災組織研修（65回）

約束内容	消防団体制の維持、強化と活動実効性の向上
達成目標	コロナ禍の影響から、この数年間中止や制限を余儀なくされた訓練や研修会等を積極的に実施し、消防団意識の高揚と知識・技術練磨を図ります。併せて、消防団整備計画の目標水準を参考に、特に女性分団と機能別消防団の増強をはじめとして、組織・人員・機械器具及び水利の整備を進め、総じて消防力の維持と増強を行います。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	団員の一定確保（増員）、女性分団19名（20名で分団長） 4月…2,092名（女性29名・機能別23名） 1月…2,102名（女性42名・機能別39名）+10名 1 消防団員の確保、活性化に向けた活動 ・事業所訪問勧誘（通年）、誠真短期大学訪問勧誘（学生消防団4月）、支団・分団に再任用消防団を勧誘（通年）、消防署所への呼かけ協力（通年） 2 消防力向上の関係訓練、調査等の実施 ・大崎水防演習、全団演習、旧庁舎活用救助訓練、救助ボート活用訓練、土砂災害警戒区域合同調査、流域河川危険箇所調査

約束内容	交通死亡事故の抑制
達成目標	近年，減少傾向にあった交通死亡事故や飲酒運転事故が，最近には多発傾向にあります。「令和5年度内犠牲者ゼロ」を目標に，各地域の取り組みを総合して，悲惨な交通死亡事故から市民を守り，効果的な活動や事業を積極的に推し進め，交通安全意識をさらに高めます。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★☆☆☆
達成状況	<p>コロナ禍以前の活動に戻るが，交通死亡事故は前年を上回る結果となった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和5年大崎市交通死亡事故…5件（5名）</li> <li>2 交通死亡事故「ゼロ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月28日…大崎市 6カ月（表彰状）</li> <li>・8月12日…鹿島台地域 1,000日（感謝状）</li> <li>・8月13日…田尻地域 500日（感謝状）</li> <li>・9月28日…松山地域 2,500日（感謝状）</li> <li>・10月26日…三本木地域 2,000日（感謝状）</li> </ul> </li> <li>3 春秋の県民総ぐるみ運動，街頭キャンペーン，交通安全広報，啓発チラシ配布など，関係機関・団体と積極的に通年実施した。</li> </ol>

約束内容	防災力，減災力のさらなる強化
達成目標	災害予防，応急対策，復旧対策に必要とされる情報の収集と共有化，並びに市民への有効な情報提供を行うシステムを構築し，頻発・激甚化する大規模自然災害の発生に備えて，大崎市の防災力・減災力のさらなる強化を図ります。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	<p>総合防災情報システムの整備が完了した。令和6年度からの運用開始後は，システムの検証と実効性を確保するため，6月14日の大崎市総合防災訓練で活用する予定としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月～2月…システム仕様調整実施。</li> <li>・3月4日（午前・午後）…職員研修実施。</li> </ul>